

<h1>第309回月例会議事録</h1>	安全技術応用研究会	
	承認	確認
	企画運営委員長	企画運営委員

- ◎ 日時 2019年1月25日(金) 10:00~16:30
- ◎ 場所 きゅりあん 5階 第2講習室
- ◎ 出席者 26名 (法人会員: 18名 個人会員: 8名 オブザーバ: 0名)

1. 報告事項

1) 自己紹介・トピックス紹介

① 梶岡企画運営委員挨拶

本日も、いつも以上にみなさまから活発なご意見をいただき進めたく考えます。
本日は、増田委員長がインフルエンザで急遽、欠席となりましたので、梶岡が進行します。

② 自己紹介・トピックス

- ・ 小林事務局長から、事務局の市川さんが退職されて、末田さんが採用されたので紹介があった。
- ・ 工作機械の新しい対応として、情報セキュリティーに関する ISO/JIS への対応を韓国の工業会から求められている。欧州も同様の対応を要求し始めている。
- ・ 社内技術標準見直しを進めている中で、ISO22100-4 サイバーセキュリティーが昨年末に発行され、その対応を進めている。
- ・ リスクマネジメントも担当していて、ISO/JIS31000 が発行されて、メーカーとしての経営リスクのリスクアセスメントに取り組み始めた。
- ・ ホームドアが増えてきた中で、品川駅では、同じホームなのに京浜東北線には有るが東海道線は無い。安全は、有れば普通になり無いと怖い。ユーザーさんにも安全の普通の姿をお話して理解してもらっているが、安全が普通なんだ、という認識が重要。
- ・ サービス産業向けにサービスロボットを提供しており、協働ロボット ISO22166 の日本の委員会に参加している。ロボットモジュラリティーの分野では、中国・台湾・韓国が中心になって進めているが、サービスロボットと産業ロボットの区別が無く、ごちゃごちゃでスコープが揺らいでしまう。

③ その他

- ・ 畑会員(個人会員)から、以下の講演会の紹介があった。添付資料参照。
「国際規格に基づく機械安全設計のポイント - 機械、電気及び機能安全」 日本機械学会主催

2) 定例報告

① 第308回月例会・第34回企画運営委員会の概要。

- ・ 詳細は「第308回月例会議事録」参照。

② 第33回関西月例会・関西委員会活動報告概要。

- ・ 詳細は「第33回関西月例会議事録」参照。

3) 事務局からの情報提供

- ・ 小林事務局長から、4月開催のDコース講座のPRがあった。添付資料参照。
今回は、テキスト代のみで開催するので、多くの会員の参加をお願いします。

【質問】

- ・ 一般の公開講習ではなく、企業内講習でお願いする場合の人数他の条件はありますか。

小林事務局長:ありがとうございます。既に他社で実績があり、事務局にご希望をお伝えください。具体的な条件についてご相談いたします。

2. 会長講演：タイトル「安全構築の基礎を考える」

13:00-14:30 安全技術応用研究会会長 福田隆文

【概要】

「安全を構築する際にポイントとなる「リスクアセスメントと安全機能の関係」、「制御システムの安全関連部の設計における考え方」「非常停止の問題点」などを題材に具体的な事例で解説。

- ・ 最近の安全技術のキーワード
セキュリティ、IoT、Connected Industry、Industry 4.0、ビッグデータ、機能安全
- ・ 基本に立ち戻ってみると、
リスクアセスメントと保護方策、制御システムの安全関連部の構成、ほか
- ・ リスクアセスメントと安全機能
- ・ ちょっと話はそれますが
危険状態の発生頻度、保護方策欠陥による危険事象の発生確率、危害の発生確率
- ・ PLr の決定 新版に示されているリスクグラフ
- ・ 制御システムの安全関連部について
- ・ 基本安全原則・十分吟味された安全原則
- ・ 化学プラントの機能安全

3. 報告テーマ「ISO/DIS 21260からみたエネルギー分析法の将来展望」

15:00～16:00 リスクアセスメント委員会

【概要】

現在審議されている ISO/DIS 21260が今後国際規格化されることを見据えて、エネルギーまたは力の観点で危険源同定から危害のひどさ、本質的安全設計方策への関係や今後役に立つと想定される応用事例(本質安全への適用やスリーブロックモデルからみた危害のひどさとの相関)などを説明。

4. 報告テーマ「月例会/委員会で取り上げてきたテーマ紹介と活用」

16:00—16:30 担当 企画運営委員会

【概要】

過去5年間安全技術応用研究会で取り上げてきたテーマをジャンル別に概要紹介と今後の活用方法について説明。

【主な意見】

- ・ 過去に纏めた委員会報告資料が活用できるように公開して欲しい。

月例会説明資料

資料番号	資料名
309-1-1	『「国際規格に基づく機械安全設計のポイント — 機械、電気及び機能安全」』
309-1-2	『「機械安全入門講座」特別無料講習会のご案内』
309-2-1	『安全の基礎を考える』
309-4-1	『アーカイブス①「知識の倉庫」活用』